

テンプレート作成コーディングガイドライン

コーディングガイドラインの目的等

本ガイドラインは、宮城県で稼働中の宮城県コンテンツマネジメントシステム（以下「CMS」という。）で編集や公開処理が可能な、専用のデザインサイトを構築するために必要な事項を定めるものである。

公開サーバにCMS以外の手段で直接ファイルを設置することを前提としたページ作成については本ガイドラインの対象外とする。

平成28年12月作成

平成29年5月修正

テンプレート制作のルール

テンプレートのデザイン、HTML、CSS を作成する場合、日本工業規格の定める JIS 規格（JIS X 8341-3 : 2016）に準拠したアクセシビリティ、および宮城県の指定する情報バリアフリーの考え方が守られたページを作成すること。守るべきアクセシビリティの内容に関しては、宮城県アクセシビリティガイドラインを参照。

CMS におけるページ管理の概念

CMS で作成したページのサーバ上でのアップロード先

コンテンツ種別	種別フォルダ名	個別フォルダ名	ファイル名
一般のページ	/soshiki/	/19/ ※数字は所属ごとに自動割当	
サブサイトページ	/site/	/aaa/ ※名称はサブサイトごとに任意	
例) /soshiki/1/info.html /site/kanko/kanko.html			

CMS で作成したページに添付したファイルのアップロード先

コンテンツ種別	種別フォルダ名	個別フォルダ名	ファイル名
画像	/uploaded/	/ image/	
PDF 等添付ファイル	/uploaded/	/attachment/	
ワープロライク以外で登録したファイル	/uploaded/	/life/	

テンプレートに使用する画像、CSS、JAVASCRIPT のアップロード先

コンテンツ種別	種別フォルダ名	個別フォルダ名	ファイル名
スタイルシート	/ssi/	/css/	
JavaScript	/ssi/	/js/	
画像	/img/	さらに任意にフォルダを切ることも可能	

コーディングルール

ページによってコーディングが異なると、文字化けやエラーの発生、デザインの統一感などが失われるなど問題が発生する恐れがある。そのため、サイト全体にわたる共通したコーディングルールとして以下のルールを作成し、これに従い、コーディングを行う。

コーディングルール

項目	要件
HTML のバージョン	<ul style="list-style-type: none"> • XHTML 1.0 Transitional DTD を採用する。 • 書式もこれに従うものとする。 • XHTML 1.0 Transitional DTD の仕様で非推奨要素・属性となっているタグは使用しない。 • HTML ソースコードの先頭には以下の宣言を記述する。 <code><?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes"?></code> • <code><!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd"></code> • <code><html></code>タグには以下のコードを使用する。(日本語の場合) <code><html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" ></code> lang 属性については、各言語に従う。
使用言語	<ul style="list-style-type: none"> • 日本語を初期値として指定する。ただし、英語・中国語についても、HTML 全体の指定及び文字単位での指定も可能。
文字コード	<ul style="list-style-type: none"> • utf-8 を採用する。ただし、携帯ページについては Shift-JIS とする。
対応ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 11、Firefox、Google Chrome、Safari、Opera など一般的に普及している、パソコン上で動作するブラウザを想定する。 • 作成する場合、レイアウト崩れ等が無いことをブラウザ上で確認し、印刷についても

項目	要件
	問題がないことを確認すること。
ファイル名称	<ul style="list-style-type: none"> ファイル名称に2バイト文字は使用せず、半角アルファベットと半角数字の組み合わせとする。使用できる記号は半角ハイフン(-)のみとする。 HTML ファイルの拡張子は”html“とする。 長すぎるファイル名は利便性を損なうため使用しない。
グローバルナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> 全ページに、トップページへのリンクを設定した規定のロゴ、アクセシビリティ対応機能、検索フォーム、グローバルナビゲーションを設置する。
分類 (CMSにより設定される)	<ul style="list-style-type: none"> どのページからもリンクされていない状態が無いよう、内容に沿った適切な分類へ関連付けを行う。
ぱんくずリスト (CMSにより設定される)	<ul style="list-style-type: none"> 全てのページに、ホームページ内における階層位置を表したぱんくずリストを設置する。 ぱんくずリストの中では、閲覧中のページにはリンクは設定せず通常のテキストとする。 ぱんくずリストのリンクもコンテンツ内のリンクと同様に、下線を非表示にするなどリンクの表示について変更をしない。
画像ファイルの形式	<ul style="list-style-type: none"> 写真については JPEG 形式とし、色数の少ないイラスト等の画像については GIF 形式および PNG 形式等、ブラウザで対応できる形式を原則とする。 アニメーション gif は、アクセシビリティに配慮されたものとする。
コード内の構成の明記	<ul style="list-style-type: none"> コード内においては ID・Class 属性を明確にすること。 コメント文はページ内における掲載情報のグループごとに、また機能ごとに記述する

項目	要件
コメント文の記述	<p>こととし、ページ内の構造の明確化を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記述すべき内容としては、情報グループまたは機能の名称、機能については、その役割を簡潔に記述すること。 ・ 意味のないコメント、自治体サイトとしてそぐわない内容の文章をコメントとして登録しない。
インデント、文章の配置調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章は<見出し>、<本文>、<リスト>といった構造化を原則とし、Web 標準に応じた構造化タグを使用すること。 ・ 見出しは<h>タグを使用し、本文は<p>タグを使用して段落として明確に表示すること。 ・ BR タグの連続による見かけ上のみの段落分けや、全角スペースを用いたインデント・センタリングなどの文字位置調整を行わないこと。 ・ リストは<dl>などのリスト専用タグを使用するものとし、文字・記号を入力してリストに見せかけるといった装飾は行わないこと。 ・ レイアウトを目的とした<table>タグは使用しない。
文字装飾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強調する必要がある文章・文言についてはタグを使用すること。 ・ 斜体を使用する場合にはタグを使用する。 ・ 文字装飾としてテキスト背景色の指定はしない。
プラグイン情報の掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュや PDF 等、再生にプラグインソフトが必要な要素がページ内にある場合は、その旨を明記する。 ・ 最新のバージョンでしか利用できないようなプラグインやコーデックは利用者を限定してしまうため、できるだけ避ける。
添付ファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ テンプレート上に添付ファイルを設置する場合には、ファイル形式とファイルサイズを

項目	要件
	<p>明記すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語などマルチバイト文字をファイル名に用いないこと。
スタイルシート	<ul style="list-style-type: none"> 既に設置されているスタイルシートは、原則として管理者以外は改修できないものとする。新規にスタイルシートを使用したい場合は、すでに存在する CSS ファイル名と重複しないように注意すること。
タイトル・H1	<ul style="list-style-type: none"> 全ページに<title>と<h1>タグを1回ずつ設置、ページタイトルを設定する。また、<h1>には<title>タグに入力した内容と同一の文章を設定すること。 複数ページで同一の<title>・<h1>を設定しないこと。
テーブル	<ul style="list-style-type: none"> CMS 上で作成する場合、枠線の表示/非表示に関わらずレイアウトのためのテーブルの使用は行わない。 テーブルには、概要を示す<caption>タグを必ず設定すること。 テーブルには背景色を使用することは出来ない。
使用が出来ないタグ	<ul style="list-style-type: none"> <form>タグなど、別途プログラムでの対応が必要となるタグは使用しない。 <frame>や<iframe>など、フレーム要素は使用しない。 その他、アクセシビリティに問題のあるタグは使用しない。
リンクパス	<ul style="list-style-type: none"> 原則として内部リンクのパスは、サーバサイドの相対パスで記述すること。 <p>※具体的には、ドメイン部分を省いた“/(スラッシュ)”から開始されるパス記述。</p>
バリデーションチェック	<ul style="list-style-type: none"> 作成した HTML について、W3C Markup Validation Service で文法チェックを行う。

ページ種別と、それらに対応するテンプレートファイル名

テンプレートは、ページ全体を定義するテンプレートと、部分を定義するテンプレートがある。

以下、ページ全体を定義するテンプレートについて記載する。

ページ種別		登録テンプレート名
トップページ	トップページ	top-index
分類	分類でさがす	life-index
分類	大分類	life-list3 life-list3-1
分類	中分類	life-list2
分類	小分類	life-list1
最終ページ	最終ページ	soshiki-detail
最終ページ	サイトマップ	Sitemap
関連	サブメニュートップ	kanren-index kanren1 kanren2
リスト	新着情報一覧	soshiki-news
所属	組織でさがす	soshiki-index
所属	組織でさがす (50 音順)	soshiki-index-50
所属	部局トップ	soshiki-kakubu
所属	課トップ	soshiki-kakuka

ページ種別		登録テンプレート名
お問い合わせ	所属課のページ	mail-form-detail
カレンダー	カレンダー	calendar-index calendar-g-index calendar-m-index
360°ビュー	360°ビュー	360-index
ウェブブック	ウェブブック	book
サブサイト	トップページ	site-index site-index2
サブサイト	大メニューリスト	site-list-2
サブサイト	小メニューリスト	site-list1 site-list2
サブサイト	最終ページ	subsite-detail-template
大規模災害	大規模災害トップページ	top-index-emer
検索結果		search

使用するスタイルシート、javascript 等については、各テンプレートを参照。

HTML テンプレート内で使用できるタグ

※以下は、<body>～</body>タグ内で使用できるタグを指定しております。

※ネットクルーCMSにて記事ページを作成する際に使用する「ワープロライクエディタを追加」内にて使用できるタグについては、別紙「ワープロライクエディタ_タグ設定一覧」に記載しておりますのでご参照ください。

使用可能タグ一覧

タグ	意味
<a>	アンカー(リンク)
<address>	連絡先
 	改行
<dd>	定義した用語の説明
<div>	ブロック要素
	インライン要素
<dl>	定義リスト
<dt>	定義する用語
<h1>	見出し (<h1>はページタイトルに自動付与されますので、それ以外の使用は不可です。)
<h2>～<h6>	見出し
<hr />	横罫線
	画像表示
	リスト項目

タグ	意味
	順序のあるリスト
	順序のないリスト
<p>	段落
	強調（太字）
	強調（斜体）
<table>	テーブル
<tbody>	テーブルのボディ部分
<td>	テーブルのデータセル
<tfoot>	テーブルのフッター部分
<th>	テーブル内の見出し
<thead>	テーブルの見出し行
<caption>	テーブル用タイトル
<tr>	テーブルの行設定
<map> <area />	<p>イメージマップ（1つの画像内に複数のリンクを設置）</p> <p>※ただし、CMSのページ作成機能では、イメージマップの編集はできません（タグを直接編集するなら可）ので、原課による更新が想定される部分には、できるだけ使用しないこと。</p>